

## 大きく変わる学校

星美学園が共学化、校名変更

### サレジアン国際学園中学校



2022年4月より星美学園中高はサレジアン国際学園中学校高等学校として新たに出発します。1872年にカトリックの司祭ドン・ボスコによって創立された女子修道会「サレジアン・シスターズ」は、世界に広がり各国で学校を運営しています。日本で開校した学校の一つが星美学園です。1947年の開校以来、女子教育を柱とした人間教育に力を注いできました。しかし社会が大きく変化し、現在は男女協働の取り組みなど、誰もが自由で対等に活躍できる社会の創出が求められています。こうした大きな転換期を見据えて、共学化、校名を変更して「21世紀に活躍できる世界市民の育成」に取り組みます。

#### 1. ドン・ボスコの学校として

ドン・ボスコは「善良なキリスト者、誠実な市民の育成」を教育目標に掲げていました。この目標を現代新たにとらえ直した目標が「21世紀に活躍できる世界市民の育成」です。世界市民として活躍するには、経験したことのない諸問題に直面した時に、それらの解決のために主体的に考え続ける力が必要です。日本語だけでなく他言語も用いた言語活用力、多様な文化的背景や価値観を持つ人々とのコミュニケーション力、日常的に科学的に思考し、判断することができる数学・科学リテラシーが求められます。ドン・ボスコの学校として、「考え続ける力」「言語活用力」「コミュニケーション力」「数学・科学リテラシー」、そして積極的に諸課題に取り組む「心の教育」を、本校の教育の5本柱として位置づけます。

#### 2. 全教科でPBL型授業

全教科でPBL型授業を実践します。教員や生徒相互間で、きっかけとなる「問い」が提示され、生徒が個人で解決法を情報収集、その結果をグループで話し合い、取捨選択して最良と考えられるものをプレゼンテーションで発表するのがPBL型授業の流れです。面倒で手間がかかる手法ですが、正解を暗記して定期テストをしのげばそれでおしまい、といった勉強では身につかない、正解のない問題に対して建設的に新たな自分の考えを見出し続けていく「前向きな学び」を実践します。こうした学びを支えるため、生徒は1人1台のiPadを持ち、授業支

援アプリ、学習用アプリ、自学自習用のオンライン教材をフルに活用します。

#### 3. 2クラス(コース)制について

中学は本科クラスとインターナショナルクラス、高校はこれがコースとなって本科コースとインターナショナルコースの2コース制です。本科とインターナショナルはカリキュラムが異なります。

本科はPBL型授業を軸に、学問と社会の繋がりを意識しながら基礎学力の定着を目指します。また、自分の興味関心のあるゼミを選択して探究活動を行う「個人研究」を週3時間実施。学問の基礎を習得したうえで自ら探究を進めます。加えて、英語の授業を週8時間行い、世界市民として自ら発信するための言語活用力も身につけます。インターナショナルは英語の習熟度別にAG(入学時点で英検2級程度)とSG(学習歴は浅くても英語学習へ高いモチベーションを持つ)の2つのグループで授業を展開します。英語はどちらも週10時間でAGは外国人教員による授業、SGは外国人と日本人のチームティーチングで、「英語で考える」学びを実践します。

#### 4. フォローアップと進学対策

本科では高校2年生から進路希望に合わせた選択科目を実施、放課後に大学入試対策講座や、夏休みには大学受験対応の合宿も実施します。また、小論文対応なども十分に行います。インターナショナルは国内大学に加えて海外大学を視野に入れた進学指導を実施します。